

地域とともに生きる灯中へ

福井市灯明寺中学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	1回
中学校区を単位とした協議会	4回
地域及び家庭への学校公開	15回

(2) 地域人材の活用（のべ人数）

講師・ゲストティーチャー	19人
授業ボランティア（含：低ボラ）	14人
登下校支援ボランティア	78人
その他（ ）	人

(3) 特色ある活動

テーマ「 心の教育の充実 」

具体的活動内容

テーマ

※心の教育の充実

- ・教育講演をとおして、いじめや差別を許さない心を育てる取組

教育講演「福島原発から我々が学ぶこと」

震災直後に福島県に入り、原発事故で被害にあった人々の治療に当たってこられた医師徳永日呂伸先生を講師に迎え大変貴重なお話を聞くことができた。

最初に福島原発周辺の人たちは、地震と放射能の被害に加え、避難先でも放射能に対する誤解からいじめや差別を受けていることを知らされた。

原発事故や放射能に対する誤解を無くすために、実際の現場写真や映像を見たり、「放射線」と「放射性物質」の違いや、「被ばく」や「除染」についてわかりやすく教えていただいた。

生徒からは、「今までの自分も誤解していたことを知り恥ずかしくなった。」「直接何かすることはできないが、心の中で復興を応援したい。」などの感想が寄せられた。



- ・地域と連携したボランティア活動の取組

生徒会執行部が中心となり、中学生として地域のために何かできないという気持ちから、地域の方へアンケートを実施した。その寄せられた意見から「地域貢献奉仕活動」として、大雪のため通行できなくなっている学校周辺の歩道除雪を計画し、全校生徒へボランティアを呼びかけ、生徒および教職員による学校周辺の歩道除雪を行った。

成果と課題

教育講演では、誤解によるいじめや差別を無くすために、正しい知識を持つことが大切であることを学ぶことができた。

ボランティア活動では、生徒会執行部の呼びかけに対し多くの生徒が参加し、奉仕の精神や地域への愛着を深めることができた。今回はアンケートを実施し地域の方のニーズに応えた形での「地域貢献奉仕活動」であったが、今後は、地域・学校（生徒と教職員）・保護者が連携した活動を模索していきたい。